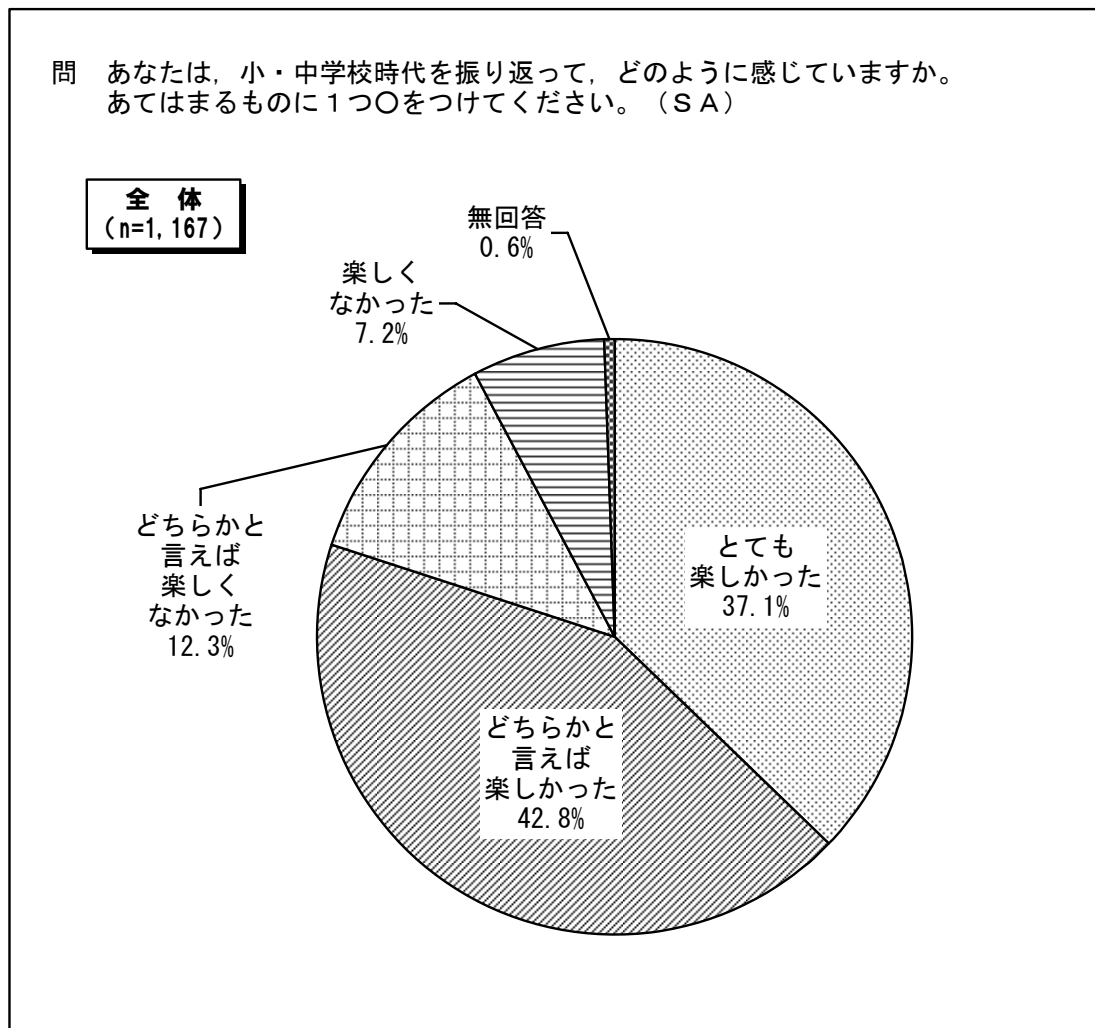


### 3. 学校や職業のことについて

#### (1) 学校や学習について

##### ① 小・中学校時代を振り返った感想



約8割が小・中学校時代を振り返って『楽しかった』。

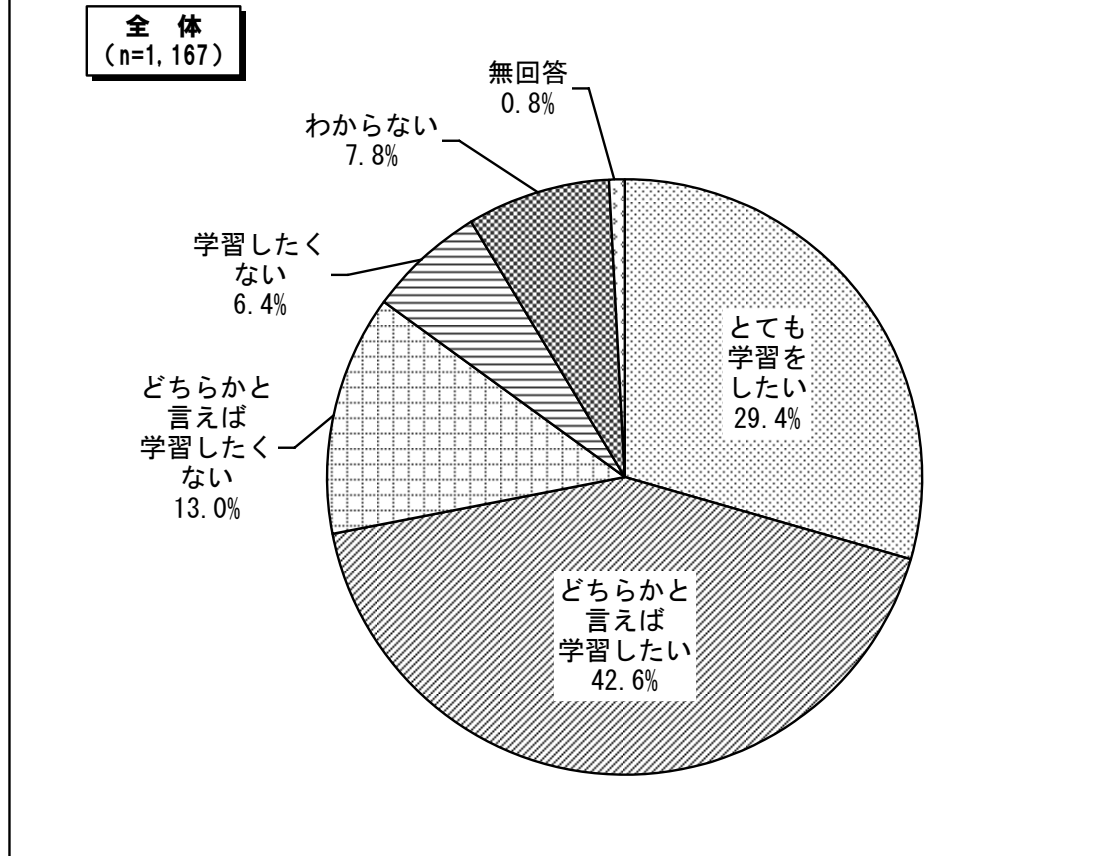
#### 【全体結果の要約】

「どちらかと言えば楽しかった」が最も多く、4割強（42.8%）を占めている。「とても楽しかった」が4割弱（37.1%）で続き、「とても楽しかった」と「どちらかと言えば楽しかった」を合わせた『楽しかった』が、約8割（79.9%）を占めている。

一方、「どちらかと言えば楽しくなかった」と「楽しくなかった」を合わせた『楽しくなかった』は約2割（19.5%）で、概ね5人に1人は『楽しくなかった』と回答している。

## ② 卒業後の学習意欲

問 あなたは学校を卒業した後も、何かを学習したいですか。  
あてはまるものに1つ○をつけてください。(SA)



4割強が学校を卒業した後も何かを「どちらかと言えば学習したい」。

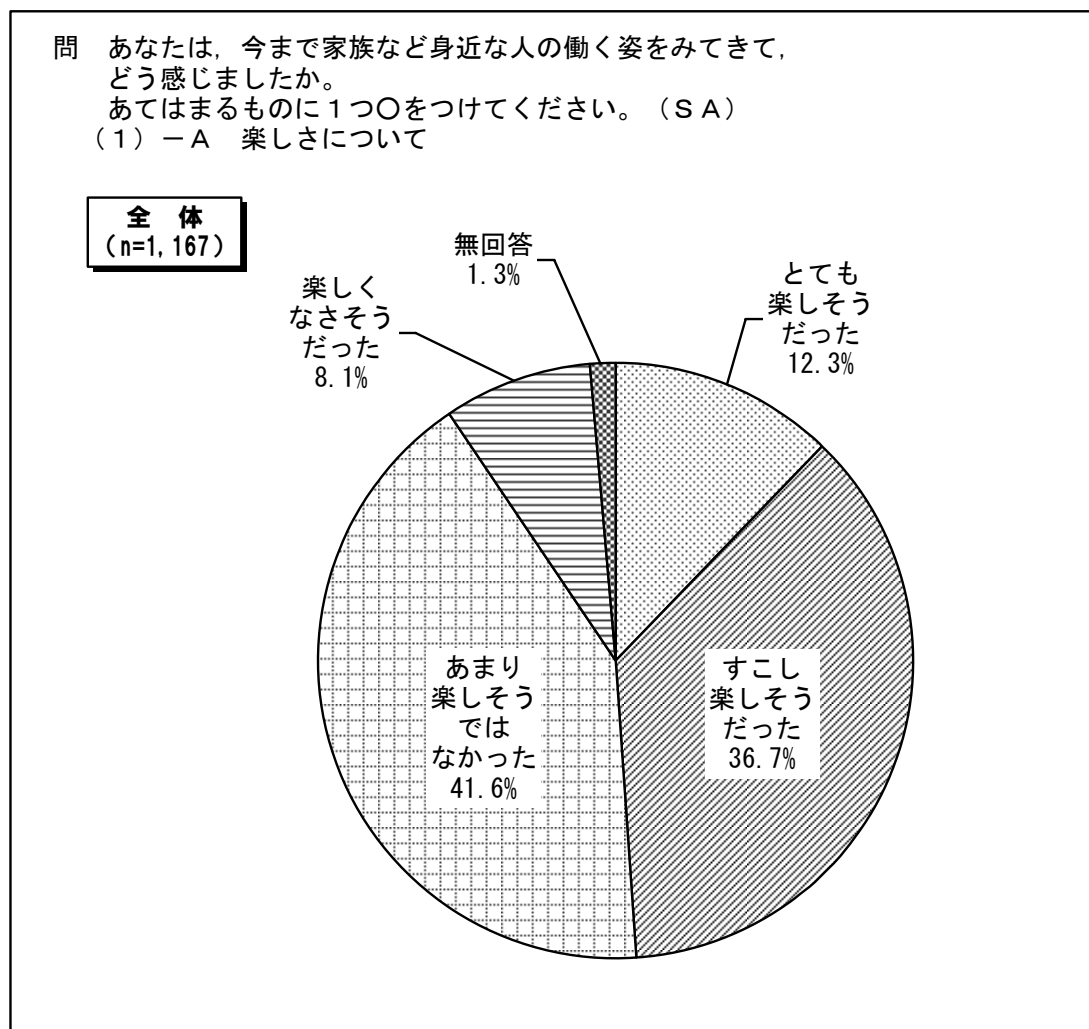
### 【全体結果の要約】

「どちらかと言えば学習したい」が最も多く、4割強（42.6%）を占めている。次いで、「とても学習をしたい」が約3割（29.4%）となっており、「とても学習したい」と「どちらかと言えば学習したい」を合わせた『学習したい』は、7割強（72.0%）を占めている。

## (2) 働くことについて

### ①-1 家族や身近な人の働く姿をみてきた感想（楽しさについて）

問 あなたは、今まで家族など身近な人の働く姿をみてきて、  
どう感じましたか。  
あてはまるものに1つ○をつけてください。（SA）  
(1) - A 楽しさについて



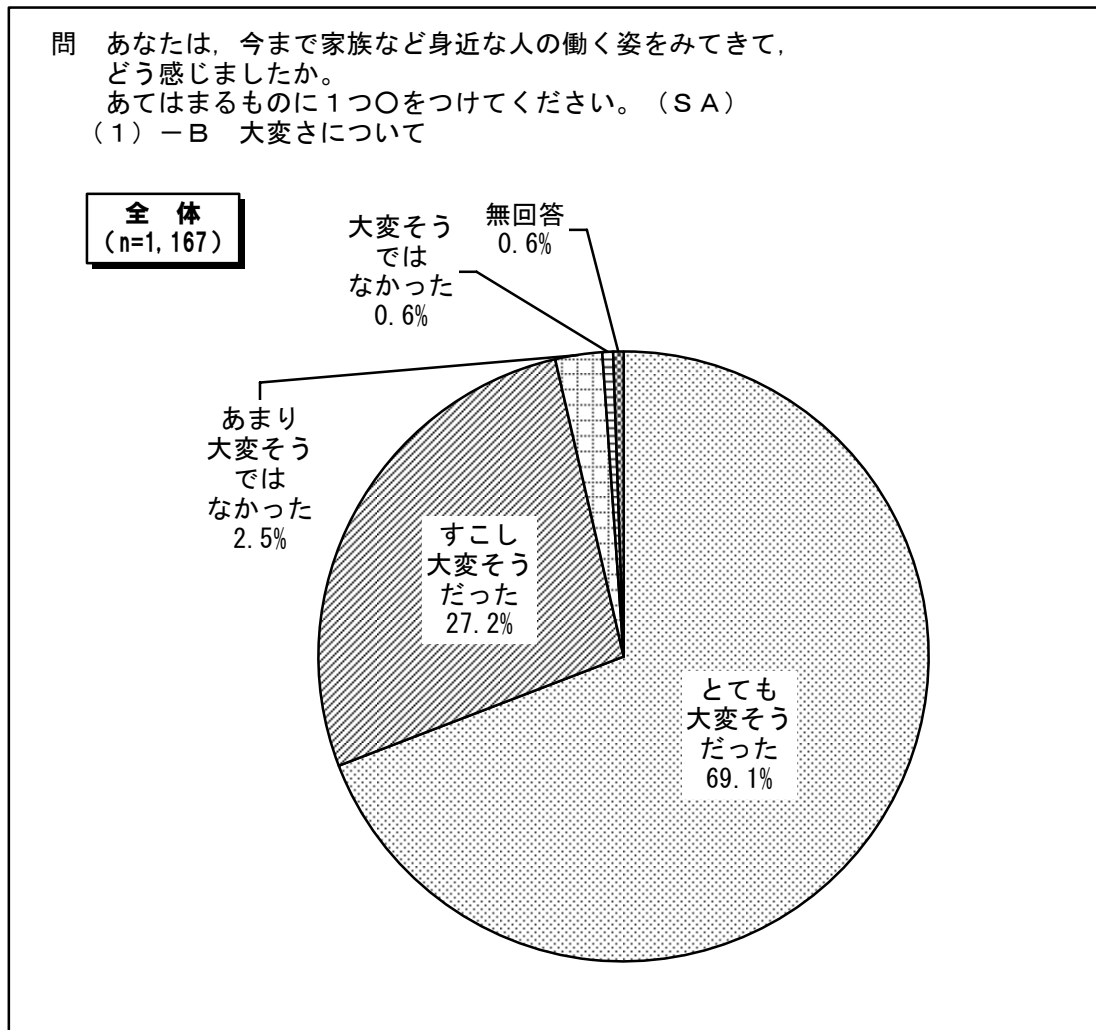
家族や身近な人の働く姿をみてきて『楽しそうだった』と『楽しそうではなかった』がほぼ半々。

#### 【全体結果の要約】

「あまり楽しそうではなかった」が最も多く、4割強（41.6%）を占めている。以下、「すこし楽しそうだった」（36.7%）、「とても楽しそうだった」（12.3%）の順で続く。

「とても楽しそうだった」と「すこし楽しそうだった」を合わせた『楽しそうだった』は約5割（49.0%）、「あまり楽しそうではなかった」と「楽しくなさそうだった」を合わせた『楽しそうではなかった』も約5割（49.7%）と、ほぼ半々になっている。

①-2 家族や身近な人の働く姿をみてきた感想（大変さについて）



約7割が家族や身近な人の働く姿をみてきて「とても大変そうだった」と感じている。

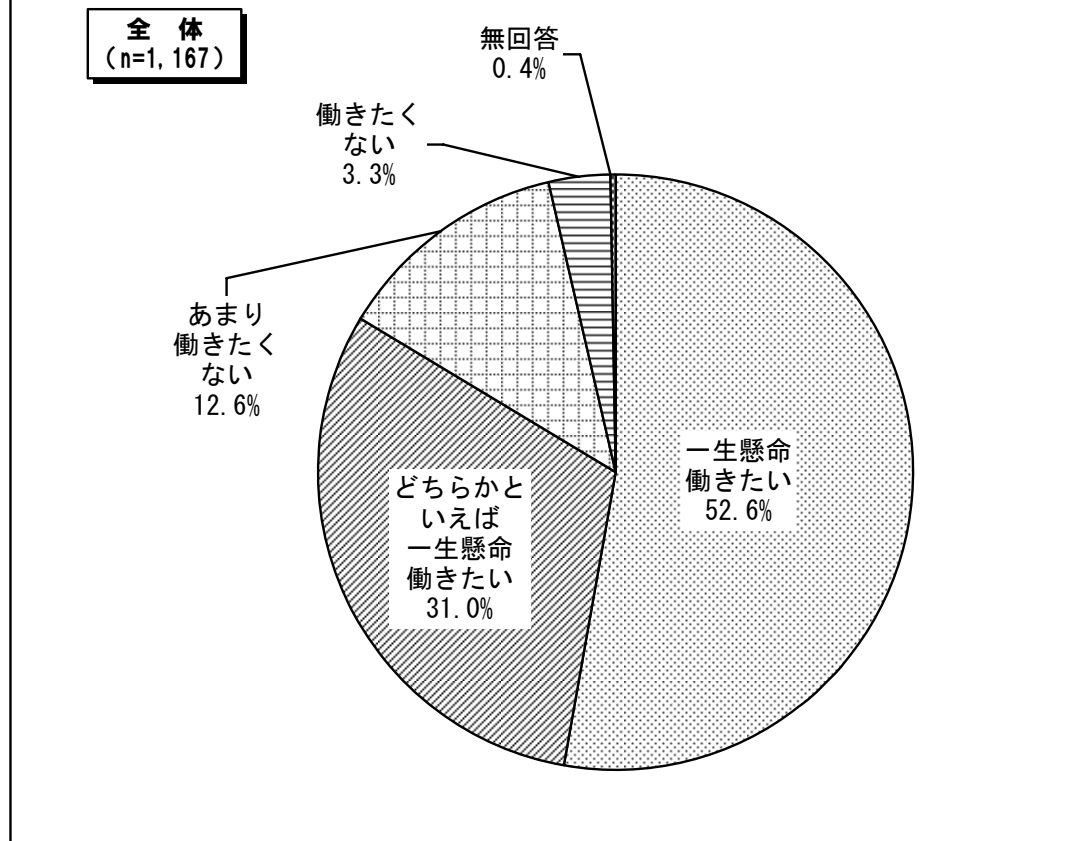
【全体結果の要約】

「とても大変そうだった」が最も多く、約7割（69.1%）を占めている。次いで「すこし大変そうだった」が3割弱（27.2%）である。この2つを合わせた『大変そうだった』は96.3%と、ほぼ全員が『大変そうだった』と感じている。

「あまり大変そうではなかった」と「大変そうではなかった」を合わせた『大変そうではなかった』は3.1%と、非常に稀である。

①-3 働くことについての意欲

問 あなたは、今まで家族など身近な人の働く姿をみてきて、  
どう感じましたか。  
あてはまるものに1つ○をつけてください。(SA)  
(2) あなた自身が働くことについて



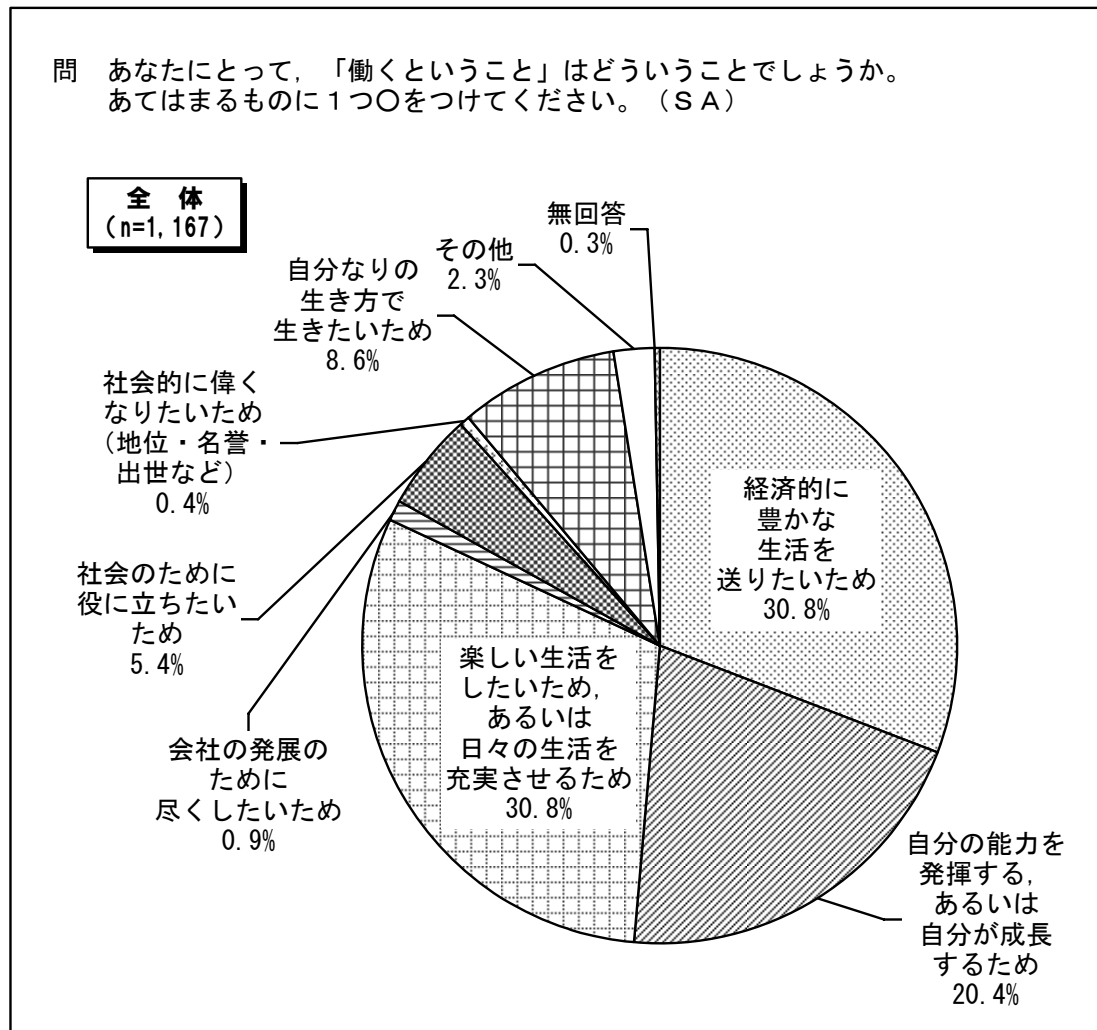
5割強が自分自身「一生懸命働きたい」と感じている。

【全体結果の要約】

「一生懸命働きたい」が最も多く、5割強（52.6%）を占めている。次いで「どちらかといえば一生懸命働きたい」が3割強（31.0%）と、この2つを合わせた『一生懸命働きたい』は8割強（83.6%）と、大勢を占めている。

一方、「あまり働きたくない」と「働きたくない」を合わせた『働きたくない』は、2割弱（15.9%）を占めている。

## ② 働くことの目的



働くことの目的は「楽しい生活をしたいため、あるいは日々の生活を充実させるため」と「経済的に豊かな生活を送りたいため」がそれぞれ約3割。

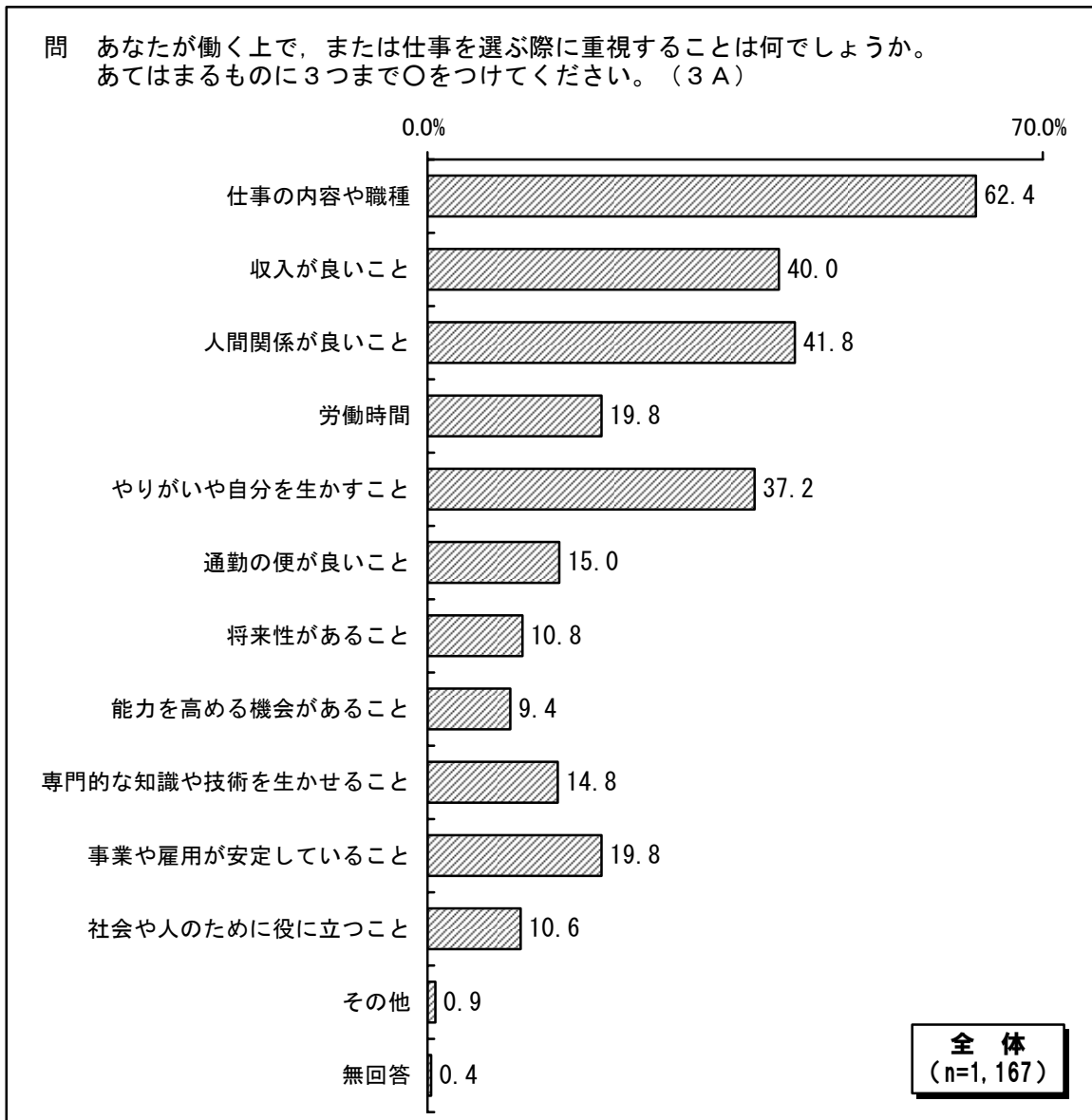
### 【全体結果の要約】

「楽しい生活をしたいため、あるいは日々の生活を充実させるため」と「経済的に豊かな生活を送りたいため」が並び、それぞれ約3割(30.8%)を占めている。次いで「自分の能力を発揮する、あるいは自分が成長するため」(20.4%)と、これら3つに回答が集中している。以下、「自分なりの生き方で生きたいため」(8.6%)、「社会のために役に立ちたいため」(5.4%)の順で続く。

最も少ないのは「社会的に偉くなりたいため(地位・名誉・出世など)」(0.4%)で、次いで「会社の発展のために尽くしたいため」(0.9%)と、この2つは1%に満たない。

その他は、「生活のため」(11名)などが寄せられている。

③ 働く上で、または仕事選択で重視すること



6割強が、自分が働く上でまたは仕事を選ぶ際に「仕事の内容や職種」を重視している。

【全体結果の要約】

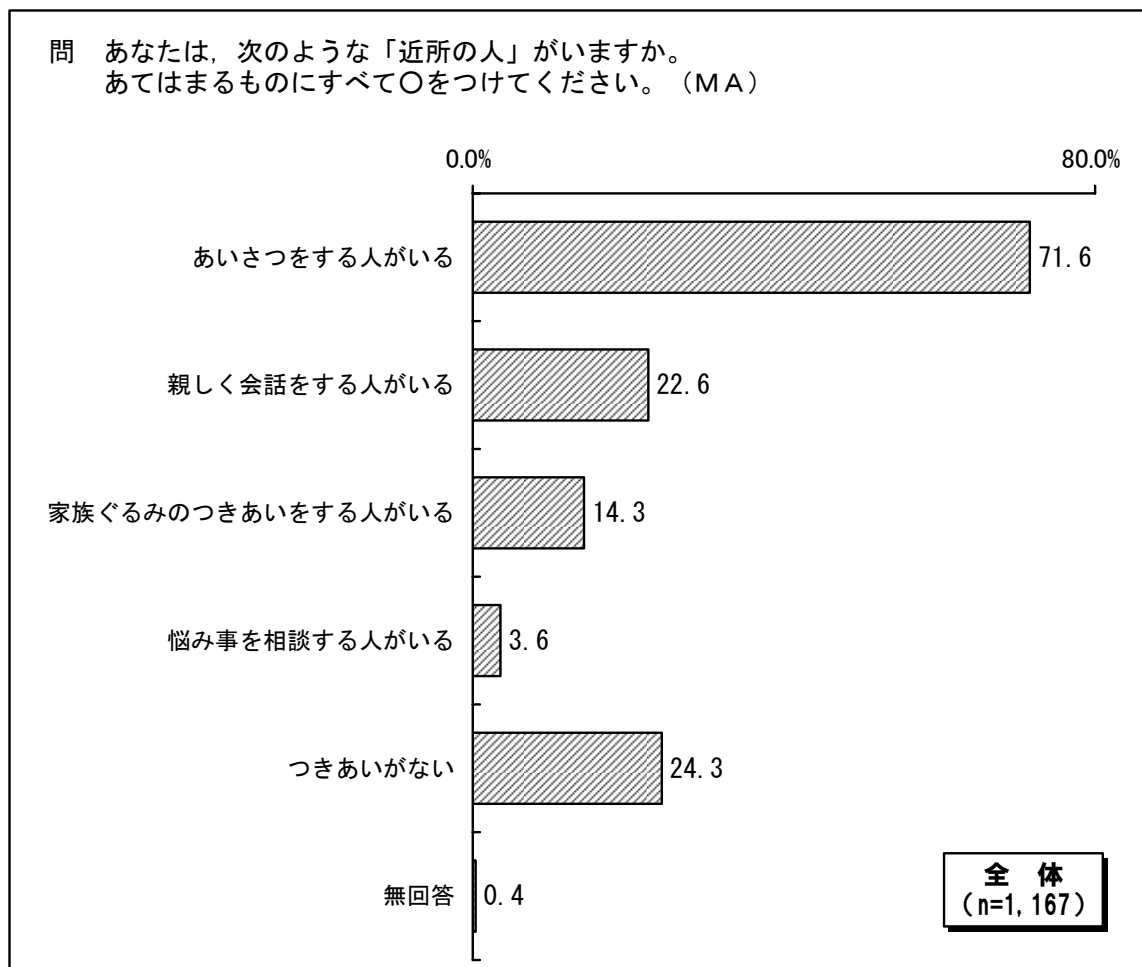
「仕事の内容や職種」が最も多く、6割強(62.4%)を占めており、他の選択肢を引き離して多い。以下、「人間関係が良いこと」(41.8%)、「収入が良いこと」(40.0%)の順で、回答率4割台となっている。回答率3割台は「やりがいや自分を生かすこと」(37.2%)のみで、回答率2割台の選択肢はない。

最も少ないのは「能力を高める機会があること」(9.4%)で、唯一1割に満たない。

その他は、「子どもの関係での急な休みなどに対応・理解があるか」(3名)などが寄せられている。

## 4. 地域社会との関わりについて

### (1) 近所づきあいについて



7割強が「あいさつをする近所の人がいる」。

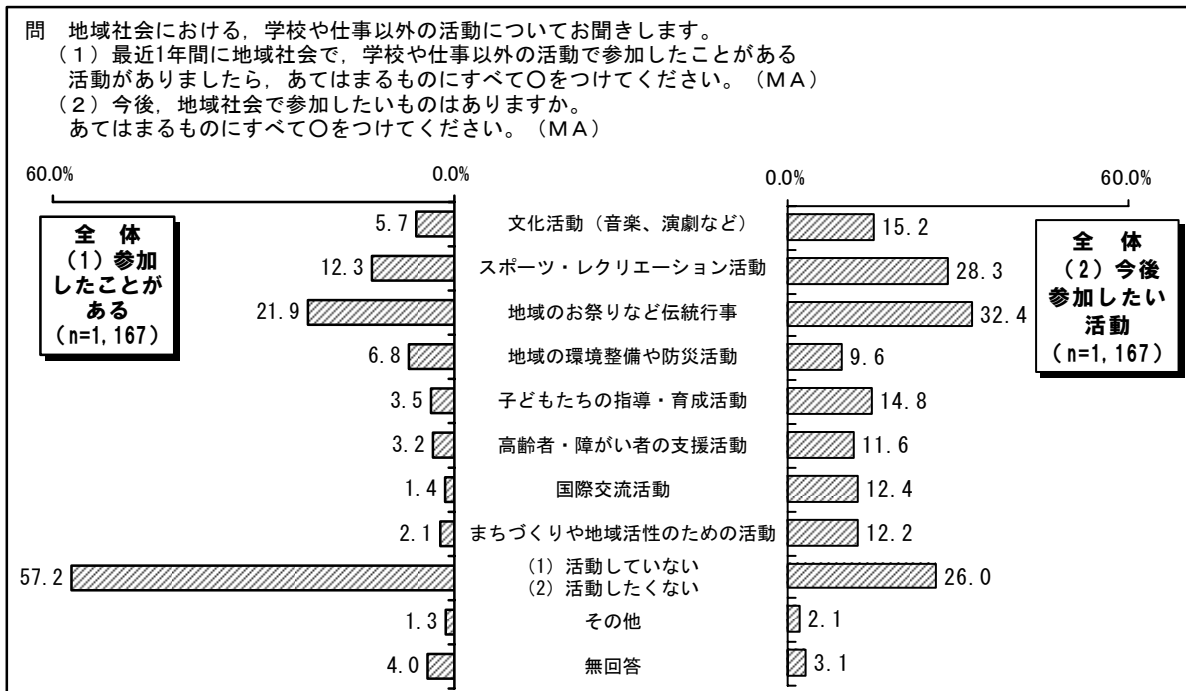
#### 【全体結果の要約】

「あいさつをする人がいる」が最も多く、7割強(71.6%)の人が回答した。以下、近所づきあいの内容で見ると、「親しく会話する人がいる」(22.6%)、「家族ぐるみのつきあいをする人がいる」(14.3%)、の順で続く。

一方、「つきあいがいいない」は24.3%と、概ね4人に1人が近所の人とつきあいがいいないと回答している。



## (2) 地域社会における、学校や仕事以外の活動について



6割弱が地域社会における学校や仕事以外の活動を「していない」。3割強が「地域のお祭りなど伝統行事」に今後参加したい。

### 【全体結果の要約】

まず最近1年間の参加状況を問うたところ、「活動していない」が最も多く、6割弱（57.2%）の人が回答している。

活動の中で最も参加が多いのは「地域のお祭りなど伝統行事」（21.9%）で、唯一回答率2割台である。回答率1割台は「スポーツ・レクリエーション活動」（12.3%）のみである。以下、「地域の環境整備や防災活動」（6.8%）、「文化活動（音楽、演劇など）」（5.7%）の順で続く。

最も少ないのは「国際交流活動」（1.4%）で、次いで「まちづくりや地域活性のための活動」（2.1%）とこの2つは3%に満たず、参加率が特に低い。

その他は、「ボランティア活動」（2名）などが寄せられている。

次いで参加したい活動を問うたところ、「地域のお祭りなど伝統行事」が最も多く、3割強（32.4%）の人が回答している。活動の中で回答率2割台は、「スポーツ・レクリエーション活動」（28.3%）のみである。回答率1割台は、「文化活動（音楽、演劇など）」（15.2%）、「子どもたちの指導・育成活動」（14.8%）、「まちづくりや地域活性のための活動」（12.2%）、「高齢者・障がい者の支援活動」（11.6%）の順で続く。

最も少ないのは「地域の環境整備や防災活動」（9.6%）で、唯一1割に満たない。

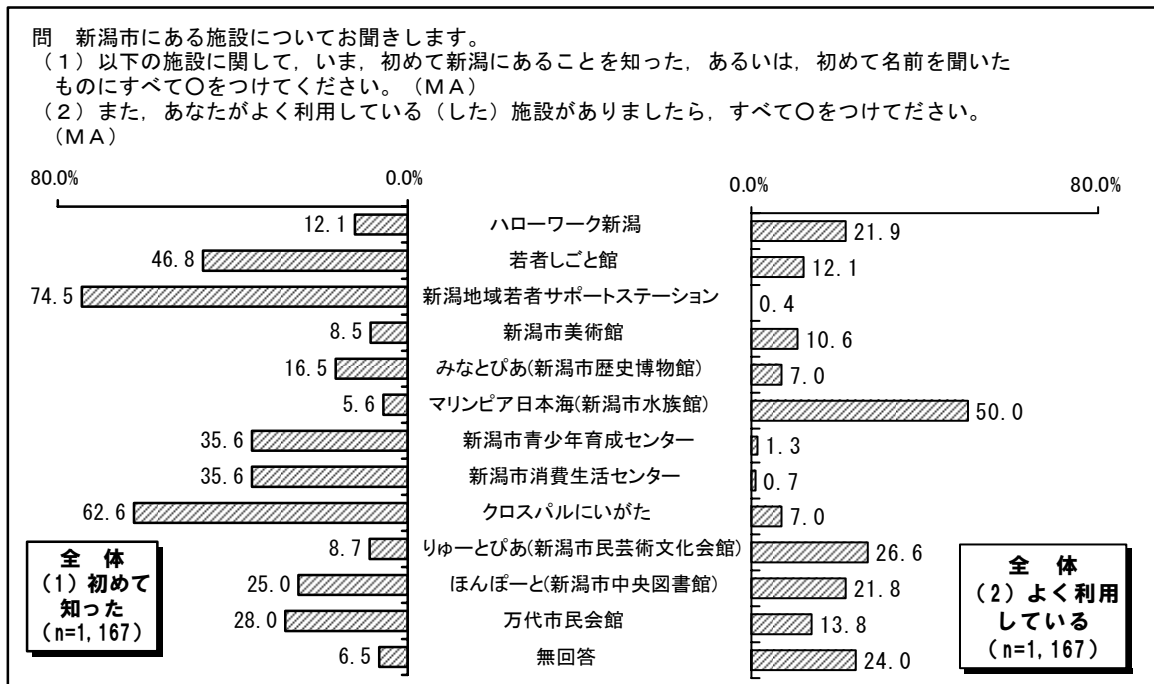
一方、「活動したくない」が26.0%と、概ね4人に1人が「活動したくない」と回答している。しかし、最近1年間「活動していない」（57.2%）との差が30ポイント以上あることから、今のところ活動していないが活動に参加する意欲はある人は多く存在していることが伺える。

その他は「活動したくても時間がとれない」（4名）、「活動したくない訳ではないが、今のところ考えていない」（3名）、ボランティア活動（2名）などが寄せられている。

## 5. その他

### (1) 新潟市における施設について

#### ① 現存施設の認知状況と利用状況



最も知られていない施設は「新潟地域若者サポートステーション」で7割強。最も利用がある施設は「マリンピア日本海（新潟市水族館）」で5割。

#### 【全体結果の要約】

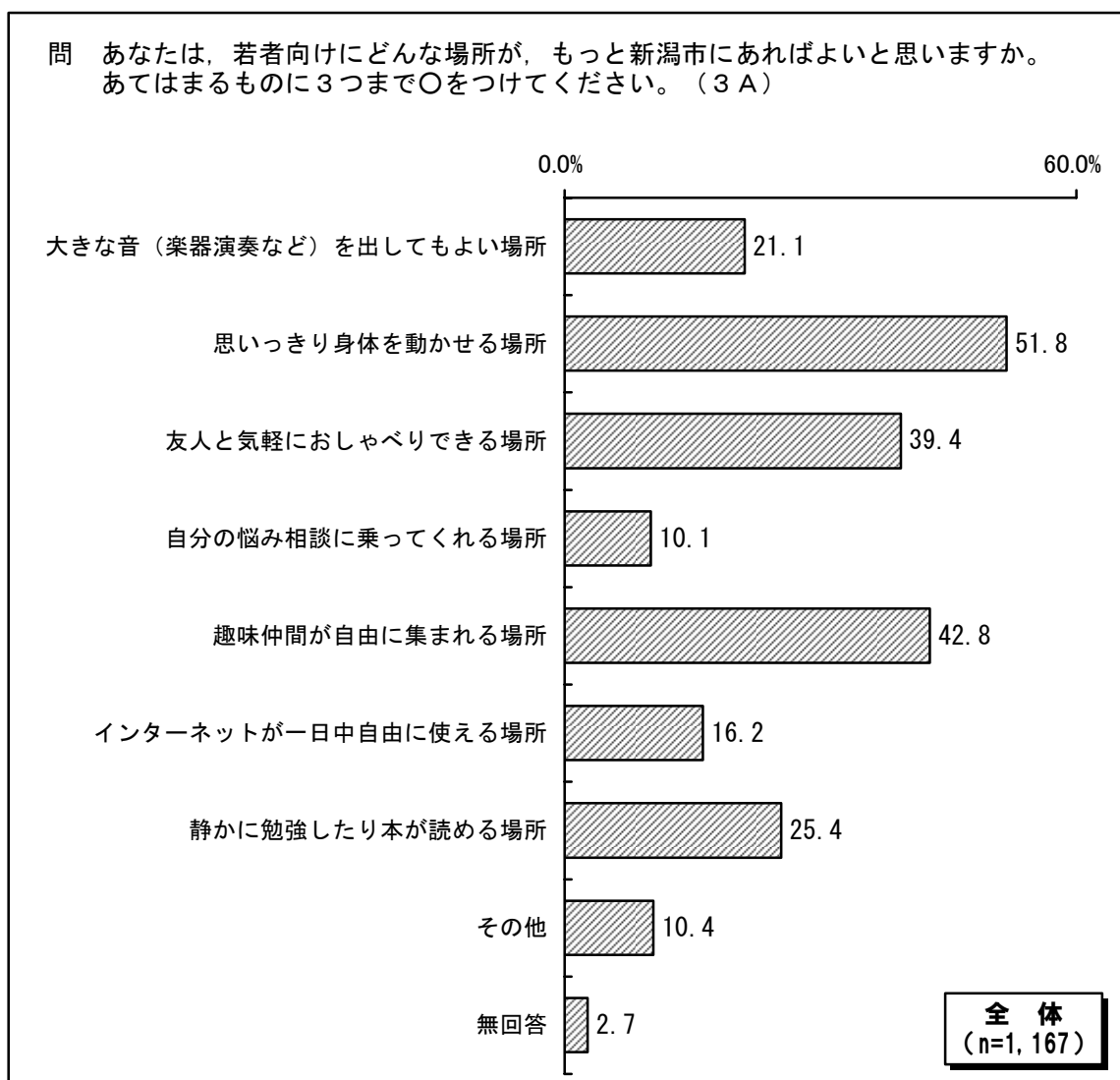
まず、初めて知った（または名前を聞いた）施設名を問うたところ、「新潟地域若者サポートステーション」が最も多く、7割強（74.5%）の人が回答している。次いで「クロスパルにいがた」が6割強（62.6%）と、この2施設を6割以上の人が回答しており、特に認知度が低いと言える。以下、回答率4割台が「若者しごと館」（46.8%）、回答率3割台が「新潟市青少年育成センター」および「新潟市消費生活センター」（ともに35.6%）、回答率2割台が「万代市民会館」（28.0%）、「ほんぽーと（新潟市中央図書館）」（25.0%）と続く。

一方、最も少ないのは「マリンピア日本海（新潟市水族館）」（5.6%）で、次いで「新潟市美術館」（8.5%）、「りゅーとぴあ（新潟市民芸術文化会館）」（8.7%）と、この3施設は回答率が1割に満たず、認知度が高いと言える。

次いで、よく利用している（した）施設名を問うたところ、「マリンピア日本海（新潟市水族館）」が5割（50.0%）で最も多く、かつ他の選択肢を引き離して多い。次いで、回答率2割台が「りゅーとぴあ（新潟市民芸術文化会館）」（26.6%）、「ハローワーク新潟」（21.9%）、「ほんぽーと（新潟市中央図書館）」（21.8%）である。回答率1割台が「万代市民会館」（13.8%）、「若者しごと館」（12.1%）、「新潟市美術館」（10.6%）の順で続く。

一方、最も少ないのは「新潟地域若者サポートステーション」（0.4%）で、次いで「新潟市消費生活センター」（0.7%）、「新潟市青少年育成センター」（1.3%）と、この3施設の利用率は極めて低い。

## ② 新潟市に望む若者向けの場所について



5割強が「思いっきり身体を動かせる場所」がもっと新潟市にあればよいと思っている。

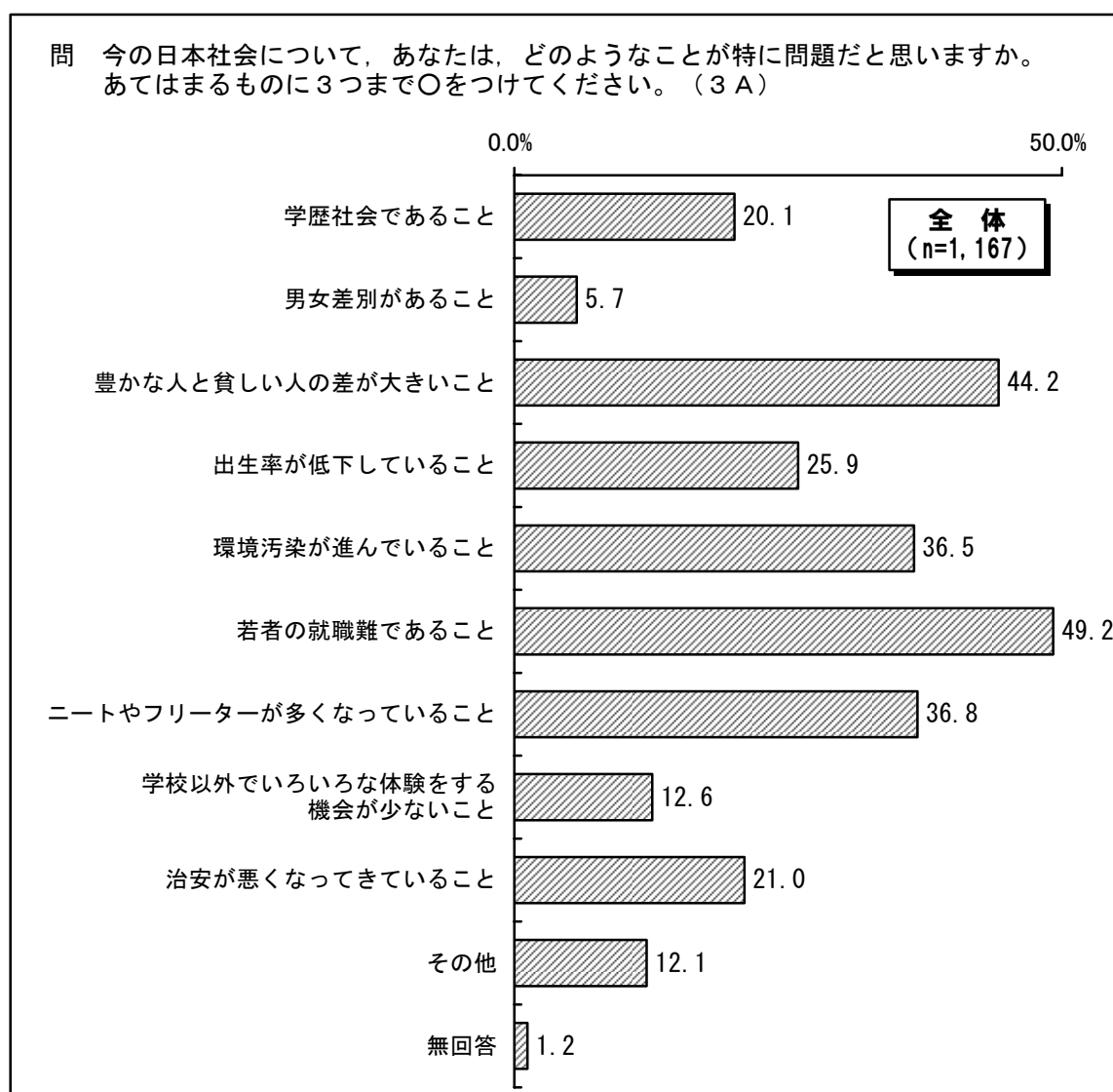
### 【全体結果の要約】

「思いっきり身体を動かせる場所」が最も多く、5割強（51.8%）の人が回答している。以下、回答率4割台が「趣味仲間が自由に集まれる場所」（42.8%）、回答率3割台が「友人と気軽におしゃべりできる場所」（39.4%）、回答率2割台が「静かに勉強したり本が読める場所」（25.4%）、「大きな音（楽器演奏など）を出してもよい場所」（21.1%）の順で続く。

最も少ないのは「自分の悩み相談に乗ってくれる場所」（10.1%）だが、概ね10人に1人が「あればよい」と回答している。

その他は、「（お店やアウトレットモールなど）商業施設」（17名）、「（遊園地など）レジャー施設」（14名）、「運動施設」「動物園」「公園」（各8名）、「子連れで遊べる、または行ける場所」（7名）などが寄せられている。

## (2) 今の日本社会で特に問題だと思うこと



約5割が今の日本社会について「若者の就職難であること」を特に問題だと思っている。

### 【全体結果の要約】

「若者の就職難であること」が最も多く、約5割(49.2%)の人が回答している。以下、回答率4割台が「豊かな人と貧しい人の差が大きいこと」(44.2%)、回答率3割台が「ニートやフリーターが多くなっていること」(36.8%)、「環境汚染が進んでいること」(36.5%)、回答率2割台が「出生率が低下していること」(25.9%)、「治安が悪くなってきていること」(21.0%)、「学歴社会であること」(20.1%)の順で続く。「若者の就職難であること」や「ニートやフリーターが多くなっていること」など、『就職に関連した事項』を特に問題と感じている傾向が強い。

最も少ないのは「男女差別があること」(5.7%)で、唯一1割に満たない。

その他は、「政治」(40名)、「教育・子育て」(9名)、「高齢化社会」(8名)、「(賃金や環境など)労働全般」(7名)、「(不景気など)経済状況」(6名)などが寄せられている。

## 6. 自由記述（概略）

「若者に関する施策について、新潟市に望むこと」を問うたところ、371名より意見が寄せられている。

特に多く寄せられた要望として、まず、『公共施設に関すること』を71名、僅差で『雇用・就労に関すること』を69名が挙げている。次いで、『学校教育に関すること』を36名、『子育てに関すること』を25名、『交通網・交通機関に関すること』および『商業施設や観光施設に関すること』をそれぞれ24名が挙げている。

具体的な内容については、『公共施設に関すること』は、「図書館や体育館やハローワークなど、施設の増設」「駅などの公共交通機関の近隣に、公共施設の設置」「公共施設が月曜日休みなので時々開けてほしいなど、開館日や開館時間に関すること」「公共施設での駐車場拡大や無料化など、駐車場に関すること」などが挙げられている。

『雇用・就労に関すること』は、「雇用の確保、または拡大」「(県を出た学生も含め) 地元の就職情報提供の充実」「労働条件の改善」などが挙げられている。

『学校教育に関すること』では、「中・高校生での職業体験など、将来の事に関する学習機会の設置」「奨学金や補助金などの支援」などが挙げられている。

『子育てに関すること』は、「保育園の増設」「出産・教育に関する金銭的支援」「出産・育児後の就職支援」などが挙げられている。

『交通網・交通機関に関すること』は、「電車やバスなどの交通網整備」「電車やバスなどの本数増加」「車中心の交通整備の見直し」などが挙げられている。

『商業施設や観光施設に関すること』は、「アウトレットなどの商業エリアの充実（それによる街の活性化）」「若者が遊んで楽しいと思える場所の増設」「新潟をアピールするためにも、新潟ならではの観光スポットの増設」などが挙げられている。